

伐株など、極めて重労働の連続でありました。

長い人生の間には、幸福ばかりはありません。妹が十七歳の春急性肺炎でなくなり、私の子供三人の死、長男は生後百日足らずで亡くなり、次女は体格もよく至極健

康体でありまーたが、中学二年生の八月二十六日夜晚、急に大熱を発し、医師の手当も看護も懸命に尽しました。

が甲斐なく、一昼夜のうちに亡くなりました。

それから苦しい毎日がつづきました。その時は祖母や両親はすぐではなく、親バカと云われるかも知れませんが、娘夫婦が、「亡く女つた妹は可哀そでならないが、いくら嘆いても仕方がない。お父さんやお母さんは、たゞ何もしまくても養い、後を見るものがあるから、よいではなきが」と慰めてくれたのが心の支えとなりました。

私たちも、世の中には苦しい立場にある方々の多いことを惜ることができる、益々仏教に接し、先祖供養のため、毎朝夕仏前にて、読経、感謝の念を捧げておりました。八年前、妹の五十回忌、娘の十七回忌が同時に来たので、二人の写真を抱き、先祖供養のため、私は西国三十番巡拜の旅を致しました。

最近私は、病氣で休むよくなことはめったではなく、家庭の手伝いに努めており、一年春日孫息子に嫁をもらい、ひ孫(男子)もできて、三夫婦揃つて一家睦まじく暮しております。

「思いごとが叶わねば、先祖供養をせよ。」と、このかありますが、坊さんからお終をあげてもらひの日、至極結構ですが、先ずそれより自家内田満が、亡くなつたものへの一番供養になるとと思ひます。

申すもまたこと下忍痛ですが、お互ひは近隣と助けあひ、仲よく暮らすことが最大の幸福であり、ひいて又明るい社会づくりに貢献することなることと思ひます。私も

昨年県から「明るい高年賞」をいただきました。
これま、私の体験記であります。自分勝手な事ばかり書き、誠に恐縮に存じます。

調査記録

血 分經塔

会員 五十川千代見

—佐伯地方に珍らしい三例—

血盆經塔は經塚の一類で、普通「大乘妙法一字一石塔」が多い當地方で、今のところ三ヶ所しか発見されていません。今後これを契機に、幾らか見つかるものと思われます。皆さんからもご協力いただけたら幸いです。
血盆經とはいいたいどんなお経でしょうか。辞典には次のように出ています。

血盆經(クボンジ) (ハ諸齋叢文・大葉和詩集)

仏經の名 一名女人血盆經

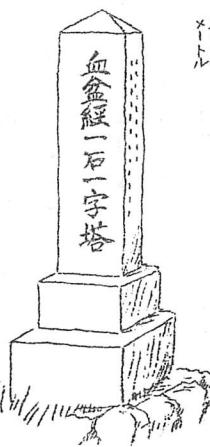
地藏本願經の飲血地獄をもとにして、中國で目連正餓血盆經を作り、我が國古代の禪僧が、又これを擬作して女人血盆經と名づけ、曹洞宗の授戒会などに於て、之を女に与えた。

これだけでは血盆經の内容はわかりかねますし、またこの經文を一字一石塔に用いた趣旨もあケリません。とにかく血盆經の經文によって供養塔が営まれていること、珍らしい事実ではないでしょうか。

佐伯地方へ佐伯市(南海部)外にもまだあるかと思われます。発見されたらお知らせ下さい。

(その一)

本庄村大字三股字阿勢津・薬師堂境内

形式
角塔型台石二段
凝灰石総高
二一〇
セイ

(石塔正面)

血盆經一石一字塔

(向って右側面)

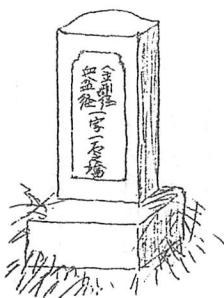
明治三十年酉五月

豊前國宇佐郡城村光鏡寺徒第

願主 大法禪□首座 謹立之

(その二)

本庄村大字宇津々字長野分(高橋理容店裏山)

形式
角塔型石質
凝灰石総高
一一四セン

(石塔正面)

金剛經一宇一石之塔

(向って左側面)

(外文字なし)

(その三)

宇目町大字千束字豊藤・阿弥陀堂境内

形式
塔婆型(突起付)石質
凝灰石総高
一〇二
セント

(石塔正面)

血盆塔

(外、文字なく造立年月等不明)

(以上)

(編集者有記)

血盆経塔はやはり供養塔でしょうか、それとも願望の塔でしょうか。血盆経とは、どんなお経でしょうか。また、外尺も方丈底せんでしょうか。編集者宛または五十四氏おでご教示下さい。(南海都郡弥生町根内) (ナガハシ)

文化戦だより

弥生町の小倉磨崖塔に鉄の鎖を

写真さとるのに、磨崖塔の前の頑丈な鉄柵が邪魔になつて困つてしまつたが、今回弥生町は柵をとりわけて、かけ外し自由な鉄の鎖で改めました。体裁よし、何よりです。

文化財保護には呼びかけが何より、鉄柵も有刺鉄線もまずい。しかし

くさりは外しても、後から必ずかけまつよ。